

本研究の基本計画

○授業改善策の提案までの流れ

本研究では、学校における授業改善の流れとして、「県調査結果分析（全国調査も含む）」から「学校の取組（授業改善）」までを、図2のように具体化して考えています。この流れに沿うように、本研究における授業改善策の提案までの流れを、図3のように整理しました。これを本研究の基本計画とし、校種別の教科部会（以下、各教科部会）を組織し研究を進めています。

なお、詳細については、各教科部会のページを御覧ください。ただし、①の「県調査の解答分析」、②の「誤答傾向等を基にした課題の焦点化」の具体的な内容については、その過程に個人や学校が特定される情報が含まれているため、本項で説明し、各教科部会のサイト内で例示するにとどめます。

① 県調査の解答分析を行う。

県調査後に、県教育委員会が発表する「Web報告書」には、調査を行った各校種、各教科で解答の正誤に関する全県的な数値を基にした、授業改善の成果と課題が示されています。本研究では、この中に示されている課題と授業改善のポイントを基に、各教科部会が解決に向けて取り組む課題を表3のように整理しました。

② 誤答傾向等から課題を焦点化する。

整理した課題（表3）について、より詳細に分析するために、県調査の解答を収集したり、県調査を基にした類似問題による追加の調査を行ったりしました。それらの解答を基に解答類型等を作成し、誤答傾向や児童生徒の思考の流れなどを分析、考察することで、整理した課題の中から授業改善の重点事項を焦点化しました。

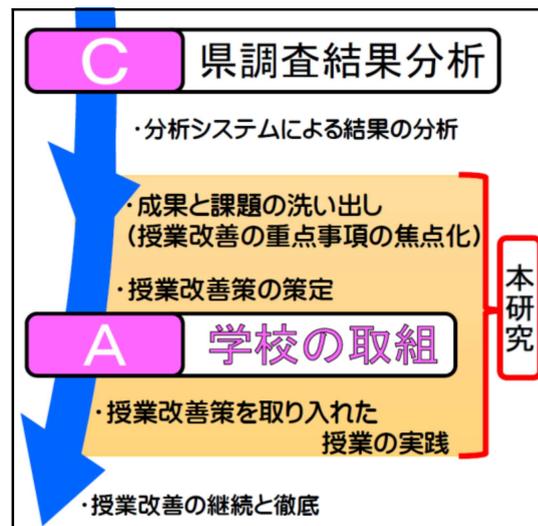


図2 学校における授業改善の流れ

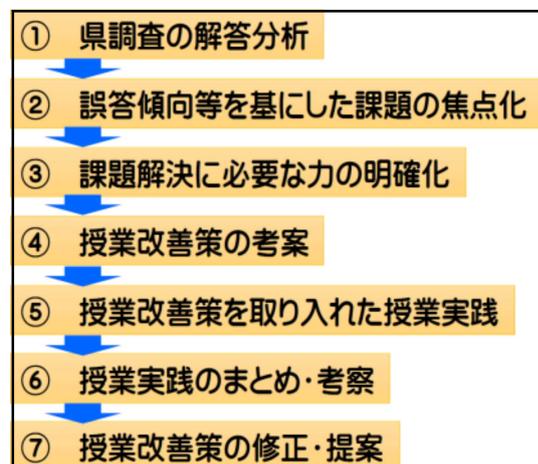


図3 本研究における授業改善策の提案までの流れ（研究の基本計画）

表3 各教科部会が整理した県調査の結果から見える課題

校種	教科部会	教科部会が整理した県調査から見える課題	校種	教科部会	教科部会が整理した県調査から見える課題
小学校	国語科	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて条件に合わせて書くこと 目的や意図に応じて、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを書くこと 目的や相手、表現様式や場面に応じること 	中学校	国語科	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成、表現の特徴や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもったり、まとめたりすること 文章に表れているものの見方や考え方について、条件に合わせて自分の考えをもつこと
	社会科	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取った情報を比較したり関連付けたりして、社会的事象の特徴、働き、役割、因果関係、条件などを考え、表現すること 社会的事象についての基礎的な知識を身に付けること 		社会科	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取った情報を基に、社会的事象の意味・意義を解釈したり、事象の特色や事象間の関連を説明したりするなど、言語を使って考え、判断し、表現すること 社会的事象についての基礎的・基本的な知識や概念を身に付けること
	算数科	<ul style="list-style-type: none"> 示された情報から、問題の解決に必要な情報を取捨選択すること 図や表から数量の関係を把握したり、数量の関係を表現している図を解釈したりすること 考えた方法や理由について言葉を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述すること 		数学科	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中の数量の関係を捉えて立式することや表、式、グラフを関連付けて理解すること 事柄が成り立つ理由を説明することや図形の証明に関することなど数学的な表現を用いて記述すること
	理科	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを基に事象の説明をしたり、学んだことと事象を関連付けて説明したりすること 新たな問題場面において、知識や技能を活用して解決の方法を構想したり、問題の解決を想定したりすること 		理科	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会の特定の場面において、基礎的・基本的な知識・技能を活用すること 観察や実験の結果を分析し解釈すること 科学的な概念を使用して考えたり説明したりすること
			英語科	<ul style="list-style-type: none"> 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること 	